

京都大学構内遺跡調査研究年報

2019年度

2021

京都大学大学院文学研究科附属文化遺産学・人文知連携センター

京大文化遺産調査活用部門

巻首図版



京都市白河街区跡・延勝寺跡・岡崎遺跡
方形土坑SK1と黒色粘質土掘りあげ後調査区全景(上), 同SK1周辺オルソ撮影画像(下)

京都大学構内遺跡調査研究年報

2019年度

2021

京都大学大学院文学研究科附属文化遺産学・人文知連携センター

京大文化遺産調査活用部門

序

本年報は、文学研究科附属文化遺産学・人文知連携センターの京大文化遺産調査活用部門がおこなった京都大学構内に残る遺跡の調査のうち、2019年度に整理の終了したものについて、その成果をまとめたものである。

第Ⅰ部で報告する白河街区跡・延勝寺跡・岡崎遺跡は、岡崎国際交流会館新設にともない、旧文化財総合研究センターが2018年度に発掘調査した。近世・近代の調査成果については、前年度の年報にて詳細を報告している。古代・中世の調査成果として、多様な遺構と多種多量の遺物が見つかった。延勝寺と直接的に関連づけられるものは見出せなかったが、注目すべき特異な遺構として方形石敷遺構を挙げられる。土坑の底面に、溝を穿った角材を井桁状に組んでその内側に石を敷く、実に特異な構造で、祭祀施設と判断できるが、いまだ類例を見ない。年代的には12世紀中頃、延勝寺の創建頃にあたるので、寺域を推定する際の大きな手がかりとなろう。また、調査区東辺では下層で弥生時代後期から古墳時代前期の土器が数多く出土した。岡崎遺跡の主たる活動域の西縁部と評価できる。

第Ⅱ部の紀要には、2本の論考を掲載したほか、旧センターの前身である埋蔵文化財研究センターの時代から構内遺跡の調査研究組織の発展・運営に尽力された、故清水芳裕氏の著作目録をおさめた。論考は、一つは、旧ユーラシア文化研究センターに保管されていた石製の棺形容器の分析を通じて、中国の唐代・宋代の同容器についてまとめたものである。もう一つは、近代初期の吉田キャンパス本部構内の実測図を素材とした幕末～近代初期の土地利用の考察で、本年度で2年目を迎えた「白川道」に関する研究プロジェクトの成果の一端である。第Ⅰ部・第Ⅱ部ともに、ご高覧いただきご批評を賜れば幸いである。

京大文化遺産調査活用部門は、コロナ禍にあっても、WEBを活用するなどして旧センターがおこなってきた文化財の情報発信をさらに推し進めた。部門のホームページで、文化遺産学・人文知連携センター資料室（尊攘堂）の内部を、パノラマツアーとしてネット公開したほか、構内遺跡の調査に基づく研究成果を、ネット配信し始めている。また、本学総合博物館と連携した特別展「文化財発掘」の6回目、「幕末・近代の出土文字資料」展は、3月に中断を余儀なくされたが秋に再開し、多くのかたにご参観いただいた。今後、文化財に関する情報や研究成果を、多方面と連携しながら継続的に社会発信していく所存であるので、ご支援とご協力、そしてご理解をお願いする次第である。

2021年2月

京都大学大学院文学研究科附属
文化遺産学・人文知連携センター長

吉井秀夫

例 言

- 1 本年報は、京都大学構内で2019年4月1日から2020年3月31日までに発掘、整理作業をおこなった埋蔵文化財調査と保存の報告、および京都大学大学院文学研究科附属文化遺産学・人文知連携センター京大文化遺産調査活用部門における研究成果をまとめたものである。
- 2 国土座標にしたがって一辺50mの方形の地区割りをして、遺跡の位置を表示した。
- 3 層位と遺構の位置については、国土座標第Ⅵ座標系（日本測地系、 $x = -108,000$ $y = -20,000$ ）が（ $X = 2,000$ $Y = 2,000$ ）となる京都大学構内座標により表示した。
- 4 遺構の略号は、奈良文化財研究所の方式にしたがって、井戸：SE、土坑：SKのように表示し、各調査ごとに通し番号を1から付した。
- 5 遺物には、遺跡の調査名を示すローマ数字と、調査ごとの通し番号を1から付した。この遺物番号は、本文、実測図、写真を通じて表示を統一した。
I：京都市白河街区跡・延勝寺跡・岡崎遺跡の発掘調査
（例 I 1：京都市白河街区跡・延勝寺跡・岡崎遺跡出土遺物1番）
- 6 原則として、遺物の実測図は縮尺1/4、遺物の写真は約1/2に統一した。他の縮尺のものは、それぞれに縮尺を明記した。
- 7 参考文献は、本文中に〔著者名 発表年〕の形式で表わし、巻末に一括した。
- 8 古代・中世土師器の型式分類は、とくにことわりがない場合、『京都大学埋蔵文化財調査報告Ⅱ』（1981年）にしたがっている。
- 9 本文の執筆者名は各章の初めに列記した。また、遺構・遺物の撮影は原則として、それぞれ報告者が担当した。
- 10 編集は、富井眞が担当し、千葉豊、伊藤淳史、笹川尚紀、内記理、磯谷敦子、柴垣理恵子、長尾玲、西田陽子が協力した。
- 11 2019年度の京大文化遺産調査活用部門の組織は以下の通りである。

部 門 長：吉川 真司（文学研究科教授）
教 員：千葉 豊、伊藤 淳史、富井 眞、笹川 尚紀、内記 理
教務補佐員：磯谷 敦子、柴垣 理恵子、長尾 玲
技術補佐員：西田 陽子
事務補佐員：西川 和子、高山 典子

京都大学構内遺跡調査研究年報 2019年度

目 次

第 I 部 2019年度京都大学構内遺跡発掘調査報告

第 1 章 2019年度京都大学構内遺跡調査の概要	1
1 調査の経過	1
2 調査の成果	1
3 学 術 調 査	2
第 2 章 京都市白河街区跡・延勝寺跡・岡崎遺跡の発掘調査 II	3
1 調査の概要	3
2 層 位	7
3 古代末～中世の遺跡	13
4 古墳時代以前の遺跡	87
5 岡崎遺跡出土板状木器について	106
6 出土木製品の樹種同定結果	110
7 京都市白河街区・延勝寺跡出土編組製品の素材植物	120
8 出土桃核および木製品の年代測定	122
9 小 結	124
参考文献・主要調査履歴	132
報告書抄録	147

第Ⅱ部 京都大学大学院文学研究科附属
文化遺産学・人文知連携センター
京大文化遺産調査活用部門紀要Ⅱ

清水芳裕博士著作目録151

中国唐宋期の石製棺形容器について

—羽田邸に伝来した新例の分析から—

- 1 はじめに.....157
- 2 羽田邸に伝来した石製容器について.....159
- 3 棺形容器の概要と類例.....167
- 4 羽田邸伝来石製棺形容器の制作時期と用途.....181
- 5 おわりに.....189

第三高等中学校移転時に作成された測量図と派生する諸問題

—京都大学吉田キャンパスにおける土地利用の一齣—

- 1 京都大学文書館所蔵資料の展示.....195
- 2 「實測図」と大学敷地境界.....196
- 3 尾張藩吉田屋敷の敷地境界について.....201
- 4 「茅屋」と「水車」.....206

図 版..... 卷末

図 版 目 次

- 巻首図版 京都市白河街区跡・延勝寺跡・岡崎遺跡
上 方形土坑SK1と黒色粘質土掘りあげ後調査区全景
下 同SK1周辺オルソ撮影画像
- 図版1 京都大学吉田キャンパスの地区割と調査地点
- 図版2 京都市白河街区跡・延勝寺跡・岡崎遺跡Ⅱ
1 調査地全景その1（黒褐色土掘りあげ後・東から）
2 調査地全景その2（黒色粘質土掘りあげ後・東から）
- 図版3 京都市白河街区跡・延勝寺跡・岡崎遺跡Ⅱ
1 SK1調査前（南から） 2 SK1-1埋土中央畔（南から）
3 SK1-1埋土掘りあげ（南から）
- 図版4 京都市白河街区跡・延勝寺跡・岡崎遺跡Ⅱ
1 SK1-1南半埋土内遺物出土状況（南から）
2 SK1-1南半井桁W検出状況（南から）
3 SK1-1西北コーナー井桁検出状況（北から）
4 SK1-1東北コーナー井桁検出状況（南から）
5 SK1-1東南コーナー井桁検出状況（南から）
- 図版5 京都市白河街区跡・延勝寺跡・岡崎遺跡Ⅱ
1 SK1-1西壁遠景（SK1-2掘り下げ前・南東から）
2 SK1-1西壁近景（SK1-2掘り下げ前・南東から）
- 図版6 京都市白河街区跡・延勝寺跡・岡崎遺跡Ⅱ
1 SK1-1石1平面（上が南）
2 SK1-1石1・井桁W（東から）
3 SK1-1井桁北西角（南から）
4 SK1-1井桁北東角（南西から）
5 SK1-1井桁W下部（南東から）
6 SK1-2東西断面（南から）
- 図版7 京都市白河街区跡・延勝寺跡・岡崎遺跡Ⅱ
1 SK1埋土・石敷除去後全景（北から）

- 2 SK 1 埋土・石敷除去後全景（南西から）
- 3 SK 1 - 2 埋土掘りあげ後（南から）

図版 8 京都市白河街区跡・延勝寺跡・岡崎遺跡Ⅱ

- 1 SK 1 - 2 北壁際石列と礎板（西から）
- 2 SK 1 - 2 埋土掘りあげ後（東から）
- 3 SK 1 - 2 西壁際石 9 と木杭（南東から）
- 4 SK 1 井桁除去後全景（西から）
- 5 SK 1 北東角井桁下礎石（南から）
- 6 SK 1 南東角井桁下礎石（西から）

図版 9 京都市白河街区跡・延勝寺跡・岡崎遺跡Ⅱ

- 1 調査区東南部黒褐色土掘りあげ後全景（西から）
- 2 SK 1 東側列石（左より石10・11・11下87・29, 東から）
- 3 配石 S X 42 周辺土師器出土状況（西から）
- 4 配石 S X 42 周辺土師器出土状況（南から）
- 5 S E 13（手前）・S E 15（奥）（東から）
- 6 S E 15（東から）

図版10 京都市白河街区跡・延勝寺跡・岡崎遺跡Ⅱ

- 1 S E 5 検出状況（西から）
- 2 S E 5 井筒・掘方掘り下げ状況（西から）
- 3 S E 5 井筒内編組製品出土状況（南から）
- 4 S E 5 井筒内中層埋積状況（西から）
- 5 S E 5 底面曲物検出状況（西から）
- 6 S E 5 曲物内埋積状況（西から）

図版11 京都市白河街区跡・延勝寺跡・岡崎遺跡Ⅱ

- 1 S E 9 完掘状況（南から）
- 2 S E 9 曲物露出状況（南から）
- 3 S X 8 上面土器溜（東から）
- 4 S X 8 下部土坑内木製品出土状況（東から）
- 5 SK 2 上面土器溜（東から）
- 6 SK 6 ほりあげ状況（北から）

図版12 京都市白河街区跡・延勝寺跡・岡崎遺跡Ⅱ

- 1 調査区東半黒色粘質土掘りあげ後（北西から）
- 2 調査区西半黒色粘質土掘りあげ後（北東から）
- 3 S D34調査区南壁断面（北から）
- 4 土器溜 S X 22（西から）
- 5 土器溜 S X 6（西から）
- 6 土器溜 S X 10（西から）

図版13 京都市白河街区跡・延勝寺跡・岡崎遺跡Ⅱ

- 1 土器溜 S X 7（北から）
- 2 土器溜 S X 20（北東から）
- 3 土器溜 S X 4（北から）
- 4 土器溜 S X 15（北から）
- 5 土器溜 S X 5（北から）
- 6 土器溜 S X 11（西から）

図版14 京都市白河街区跡・延勝寺跡・岡崎遺跡Ⅱ

- 1 土器溜 S X 24（東から）
- 2 土坑 S X 23（東から）
- 3 瓦溜 S X 14（北西から）
- 4 調査区東南集石・瓦溜 上より S X 35～37・39（北西から）
- 5 調査区西域柱穴・礎石群（北から）

図版15 京都市白河街区跡・延勝寺跡・岡崎遺跡Ⅱ

- 1 流路 S R 1 掘りあげ後全景（北から）
- 2 流路 S R 1 内遺物出土状況（北から）
- 3 流路 S R 1 内遺物出土状況（南から）

図版16 京都市白河街区跡・延勝寺跡・岡崎遺跡Ⅱ

- 1 S X 31（西から）
- 2 S X 31（南から）
- 3 S X 32（西から）
- 4 S X 33（西から）
- 5 S X 34（東から）
- 6 S X 34と植物遺体集中（東から）
- 7 北壁際シルト層板状木器出土状況（東から）

図版17 京都市白河街区跡・延勝寺跡・岡崎遺跡Ⅱ

- S K 1 出土遺物, S K 2 出土遺物, S E 5 出土遺物, S E 13 出土遺物,
S X 8 出土遺物(1)

- 図版18 京都市白河街区跡・延勝寺跡・岡崎遺跡Ⅱ
S X 7 出土遺物, S X 8 出土遺物(2), S X 10 出土遺物
- 図版19 京都市白河街区跡・延勝寺跡・岡崎遺跡Ⅱ
S X 15 出土遺物, S X 20 出土遺物, S X 22 出土遺物, S X 42 出土遺物,
S P 13 出土遺物
- 図版20 京都市白河街区跡・延勝寺跡・岡崎遺跡Ⅱ
黒褐色土出土遺物, 緑釉土製円塔
- 図版21 京都市白河街区跡・延勝寺跡・岡崎遺跡Ⅱ
軒丸瓦(1)
- 図版22 京都市白河街区跡・延勝寺跡・岡崎遺跡Ⅱ
軒丸瓦(2)
- 図版23 京都市白河街区跡・延勝寺跡・岡崎遺跡Ⅱ
軒丸瓦(3)
- 図版24 京都市白河街区跡・延勝寺跡・岡崎遺跡Ⅱ
軒丸瓦(4)
- 図版25 京都市白河街区跡・延勝寺跡・岡崎遺跡Ⅱ
軒丸瓦(5)
- 図版26 京都市白河街区跡・延勝寺跡・岡崎遺跡Ⅱ
軒丸瓦(6)
- 図版27 京都市白河街区跡・延勝寺跡・岡崎遺跡Ⅱ
軒丸瓦(7), 軒平瓦(1)
- 図版28 京都市白河街区跡・延勝寺跡・岡崎遺跡Ⅱ
軒平瓦(2)
- 図版29 京都市白河街区跡・延勝寺跡・岡崎遺跡Ⅱ
軒平瓦(3)
- 図版30 京都市白河街区跡・延勝寺跡・岡崎遺跡Ⅱ
軒平瓦(4)
- 図版31 京都市白河街区跡・延勝寺跡・岡崎遺跡Ⅱ
軒平瓦(5)

- 図版32 京都市白河街区跡・延勝寺跡・岡崎遺跡Ⅱ
軒平瓦(6), 鬼瓦, 瓦製円板, 線刻平瓦
- 図版33 京都市白河街区跡・延勝寺跡・岡崎遺跡Ⅱ
S K 1 出土瓦
- 図版34 京都市白河街区跡・延勝寺跡・岡崎遺跡Ⅱ
曲物
- 図版35 京都市白河街区跡・延勝寺跡・岡崎遺跡Ⅱ
木器・木製品(1)
- 図版36 京都市白河街区跡・延勝寺跡・岡崎遺跡Ⅱ
木器・木製品(2)
- 図版37 京都市白河街区跡・延勝寺跡・岡崎遺跡Ⅱ
木器・木製品(3)
- 図版38 京都市白河街区跡・延勝寺跡・岡崎遺跡Ⅱ
弥生～古墳時代の土器(1)
- 図版39 京都市白河街区跡・延勝寺跡・岡崎遺跡Ⅱ
弥生～古墳時代の土器(2)
- 図版40 京都市白河街区跡・延勝寺跡・岡崎遺跡Ⅱ
弥生～古墳時代の土器(3)
- 図版41 京都市白河街区跡・延勝寺跡・岡崎遺跡Ⅱ
1 弥生～古墳時代の土器(4) 2 石器・石製品
- 図版42 京都市白河街区跡・延勝寺跡・岡崎遺跡Ⅱ
下部シルト層出土板状木器
- 図版43 羽田邸伝来石製棺形容器
1 羽田邸伝来石製棺形容器の全体像
2 羽田邸伝来石製棺形容器の上面および内部
3 羽田邸伝来石製棺形容器の右側面
4 羽田邸伝来石製棺形容器の左側面
5 羽田邸伝来石製棺形容器の前面
6 羽田邸伝来石製棺形容器の後面

図版44 羽田邸伝来石製棺形容器

- 1 羽田邸伝来石製棺形容器の右側面細部(1)
- 2 羽田邸伝来石製棺形容器の右側面細部(2)
- 3 羽田邸伝来石製棺形容器の右側面細部(3)

図版45 羽田邸伝来石製棺形容器

- 1 羽田邸伝来石製棺形容器の左側面細部(1)
- 2 羽田邸伝来石製棺形容器の左側面細部(2)
- 3 羽田邸伝来石製棺形容器の左側面細部(3)

挿 図 目 次

京都市白河街区跡・延勝寺跡・岡崎遺跡Ⅱ	図13 S E 13・S E 15……………21
図1 調査地点の位置……………3	図14 S E 5・S E 9……………23
図2 遺構配置概略図(その1) ……4	図15 S K 1 出土遺物(1)……………27
図3 遺構配置概略図(その2) ……5	図16 S K 1 出土遺物(2)……………28
図4 北壁の層位……………9	図17 S K 2 出土遺物……………29
図5 南壁の層位……………11	図18 S K 5 出土遺物, S K 7 出土遺物 ……………30
図6 南壁西辺の掘削深部の層位…………12	図19 S E 5 出土遺物(1)……………31
図7 古代末～中世初頭の遺構…………14	図20 S E 5 出土遺物(2)……………32
図8 S K 1-1 および周辺集石検出状況……………15	図21 S E 6 出土遺物, S E 7 出土遺物, S E 9 出土遺物, S E 13 出土遺物, S E 15 出土遺物……………33
図9 S K 1 木組除去後および配石 S X 42 検出状況……………17	図22 S X 4 出土遺物, S X 5 出土遺物, S X 6 出土遺物, S X 7 出土遺物 (1)……………34
図10 S K 1 東西方向断面の堆積状況 ……………18	図23 S X 7 出土遺物(2), S X 8 上部出 土遺物(1)……………35
図11 S K 1 井桁状角材の略測図と細部 ……………18	図24 S X 8 上部出土遺物(2), S X 8 下
図12 S K 1 変遷想定図……………19	

部出土遺物	36	図41	軒丸瓦(1)	56
図25 S X 10出土遺物(1)	37	図42	軒丸瓦(2)	57
図26 S X 10出土遺物(2)	38	図43	軒丸瓦(3)	58
図27 S X 11出土遺物, S X 12出土遺物, S X 14出土遺物	39	図44	軒丸瓦(4)	59
図28 S X 15出土遺物	40	図45	軒丸瓦(5)	60
図29 S X 15下層出土遺物, S X 17出土 遺物, S X 18出土遺物, S X 19出 土遺物, S X 20出土遺物, S X 21 出土遺物	41	図46	軒丸瓦(6)	61
図30 S X 22出土遺物	42	図47	軒丸瓦(7)	62
図31 S X 23出土遺物, S X 24出土遺物, S X 25出土遺物, S X 35出土遺物, S X 37出土遺物, S X 38出土遺物, S X 41出土遺物	43	図48	軒平瓦(1)	65
図32 S X 42出土遺物(1)	45	図49	軒平瓦(2)	66
図33 S X 42出土遺物(2), S X 44出土遺 物, S D 33出土遺物, S P 2 出土 遺物, S P 13出土遺物, S P 26出 土遺物, S P 57出土遺物, S P 61 出土遺物, S P 114出土遺物, S P 122出土遺物, S P 172出土遺物, S P 29出土遺物	46	図50	軒平瓦(3)	67
図34 黒色粘質土出土遺物	47	図51	軒平瓦(4)	68
図35 黒褐色土出土遺物(1)	48	図52	軒平瓦(5)	69
図36 黒褐色土出土遺物(2)	49	図53	鬼瓦, 瓦製円板, 線刻平瓦	70
図37 黒褐色土出土遺物(3)	50	図54	S K 1 出土軒瓦	71
図38 黒褐色土出土遺物(4)	51	図55	S K 1 出土瓦(1)	72
図39 茶褐色土出土遺物	52	図56	S K 1 出土瓦(2)	73
図40 緑釉土製円塔	54	図57	曲物	78
		図58	木器・木製品(1)	80
		図59	木器・木製品(2)	81
		図60	木器・木製品(3)	82
		図61	木器・木製品(4)	83
		図62	木器・木製品(5)	84
		図63	S E 5 井筒内編組製品出土状況	86
		図64	弥生～古墳時代の遺構	88
		図65	弥生～古墳時代の遺物(1)	91
		図66	弥生～古墳時代の遺物(2)	92
		図67	弥生～古墳時代の遺物(3)	93
		図68	弥生～古墳時代の遺物(4)	94
		図69	弥生～古墳時代の遺物(5)	95

図70 弥生～古墳時代の遺物(6)……………96	の重ね合わせ ……………126
図71 弥生～古墳時代の遺物(7)……………97	図90 岡崎遺跡の弥生後期末～古墳前期 の主要遺構検出状況 ……………129
図72 弥生～古墳時代の遺物(8) ……100	
図73 弥生～古墳時代の遺物(9) ……101	
図74 弥生～古墳時代の遺物(10) ……102	
図75 縄文後期の土器・晩期の土器, 弥 生中期の土器, 古墳中期の土師器 ・須恵器 ……………103	中国唐宋期の石製棺形容器について
図76 先史時代の石器・石製品 ……104	図91 本稿に関連する地図 ……………157
図77 滑石製有孔円盤 ……………105	図92 羽田邸伝来石製棺形容器 ……161
図78 板状木器 ……………106	図93 羽田邸伝来石製棺形容器の両側面 拓本 ……………162
図79 板状木器の形成過程 ……………107	図94 羽田邸伝来石製棺形容器の前後面 拓本 ……………163
図80 岡崎遺跡出土農具 ……………108	図95 羽田邸伝来石製棺形容器の右側面 拓本細部 ……………164
図81 出土木材の光学顕微鏡写真(1) ……………112	図96 羽田邸伝来石製棺形容器の左側面 拓本細部 ……………165
図82 出土木材の光学顕微鏡写真(2) ……………113	図97 石製棺形容器の類例(1) ……170
図83 出土木材の光学顕微鏡写真(3) ……………114	図98 石製棺形容器の類例(2) ……171
図84 近世木組遺構 S X 1・S X 2にお ける材の使用状況 ……………114	図99 石製棺形容器台座に表された格狭 間 ……………185
図85 S X 2における材の使用状況 ……………115	第三高等学校移転時に作成された測 量図と派生する諸問題
図86 出土した編組製品の顕微鏡写真 ……………121	図100 山城國愛宕郡吉田村地内第三高等 中学校豫定敷地實測図 ……197
図87 年代測定試料とした桃核と板状木 器破片 ……………123	図101 「實測図」と現在の京都大学本部 構内 ……………199
図88 S K 1 使用状況の想定イメージ ……………125	図102 京都大学本部構内付近の地形図・ 都市計画図 ……………200
図89 S K 1 周辺1972年調査時平面図と	図103 尾張藩吉田屋敷 ……………202

図104 75・89地点で検出した近世の遺構
203

図105 江戸時代の京都大学本部構内付近
207

図106 1897（明治30）年の京都大学本部
 構内210

目 次

表 1	火山灰の分析結果.....	10	表 7	樹種同定結果一覧（つづき）	118
表 2	軒丸瓦型式別出土点数.....	74	表 8	樹種同定結果一覧（つづき）	119
表 3	軒平瓦型式別出土点数（その1）	75	表 9	出土した編組製品の素材植物種	121
表 4	軒平瓦型式別出土点数（その2）	76	表10	放射性炭素年代測定結果	123
表 5	樹種同定結果一覧	116	表11	京都大学構内遺跡のおもな調査	136
表 6	樹種同定結果一覧（つづき）	117	表12	石製棺形容器一覧	183

2021年 2月26日 発行

京都大学構内遺跡調査研究年報
2019年度

編集 京都大学大学院文学研究科附属
発行 文化遺産学・人文知連携センター
京大文化遺産調査活用部門
京都市左京区吉田本町

印刷 三星商事印刷株式会社
製本 京都市中京区新町通竹屋町下ル弁財天町300